

教科	算 数	学 年	6 学年	単元名	比例と反比例
----	-----	-----	------	-----	--------

本時の目標

○ 伴って変わる 2 つの量を見つけ、表に表しながら規則性を見つけることができる。(技能)

○ 変わり方のきまりを見つけるには、表をたてに見たり、横に見たりして見つけることができることをつかむ。

(数学的な考え) (1 / 1 3)

本時で提示する問題

マッチ棒で階段を作ります。 階段が 2 1 段になった時、マッチ棒は何本必要でしょう。

1 段

4 本

→

2 段

8 本

→

3 段

□ 本

学習課題

段数と本数には、どのようなきまりがあるのだろうか。

「学習課題」をつかませるまでの流れ！

1 練習をする

(1) 数字カードを使って、変わっていく数量の変化に目をつける練習をする。

数字を横にみる見方を育てる。

○ 2 0 → 4 0 → 6 0 → 8 0 → □ → □

○ 1 → 3 → 5 → 7 → 9 → □ → □

○ 3 2 → 1 6 → □ → 4 → □

(2) ■には、どんな変化があるのかな。

数字をたてにみる見方を練習し、変化のきまりに目を向けさせる。

1 2 3

↓ ↓ ↓

■ ■ ■

↓ ↓ ↓

5 1 0 □

1 0 2 0 3 0

↓ ↓ ↓

■ ■ ■

↓ ↓ ↓

5 1 0 □

2 本時の素材を提示する

問題の意味をつかませるために、1 段、2 段目までは具体物を使って黒板に形を作り、イメージをもたせる。

マッチ棒で階段を作ります。1 段では 4 本、2 段では 8 本・・・2 1 段では、何本必要になるのでしょうか。

1 段

4 本

→

2 段

8 本

→

3 段

□ 本

3 段数と本数のきまりに目を向けられるように表に表しながら素材をつかませ、見通しを持たせる

階段の段数 (段)	1	2	3	4	21
マッチ棒の数 (本)	4	8	□		

4 学習問題をつかむ

段数と本数には、どのようなきまりがあるのだろうか。

5 単元を通した学び方を身につけること

「比例と反比例」の学び方として、具体的な事象から表につなげること、そして表から見出された決まりを式につなげ

ることを繰り返しながら、比例と反比例の意味を学ばせることが大切である。